



ロータリーは
世界をつなぐ

Rotary 国際ロータリー第2670地区
高松西ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF TAKAMATSU WEST



2020年 6 月 26日

Vol. 36

創 立 1969年 4月 14日
認 認 1969年 4月 23日
チャーターナイト 1969年 11月 9日
発 行 I T・広 報 委 員 会

Weekly Report 2019-2020

会長：島谷隆 / 幹事：植田真治 / 会長エレクト：辻隆志 / 副幹事：吉本委子 / S.A.A: 鈴木雅博

今週のプログラム	第 2459 回	6 月 26 日
同好会報告		
担当者	プログラム委員長	例会場 JRクレメントホテル高松

先週のプログラム	第 2458 回	6 月 19 日
客話：「スペシャルオリンピックス」スペシャルオリンピックス日本・香川 会長 藤本恒夫様		
担当者	社会奉仕委員長	例会場 JRクレメントホテル高松



島谷会長挨拶



植田幹事報告



客話:「スペシャルオリンピックス」スペシャルオリンピックス日本・香川 会長 藤本恒夫様



島谷会長挨拶

・ 政府は都道府県境をまたぐ移動の自粛要請を解除しました。プロ野球では、3ヶ月遅れでセ・パ両リーグが開幕します。5月26日付のクラブ会報 Vol.2 で報告していますが、新型コロナウイルスの影響による困窮学生への支援として当クラブより香川大学学生支援基金 30万円の寄付をさせていただきました。12日の例会の後、植田幹事、目録の段取りをしました有友社会奉仕委員長、松下副委員長と一緒に参りました。寛学長様、山神、今井田副学長様初め沢山の方々に大歓迎を受けました。その後、20～30分歓談をさせて頂き、非常にいい経験をさせて頂きました。今日は客話でスペシャルオリンピックス日本・香川会長の藤本恒夫様です。何回もの変更にもかかわらず、今日の客話をお受け頂き、ありがとうございます。今年度の最後の客話、宜しくお願い致します。

植田幹事報告

・ 6月26日例会のプログラムは「同好会報告」を行います。各同好会の会長様は宜しくお願い致します。

- ・ 年次報告の提出をお願いしていますが、活動に沿った写真がございましたら併せてお送り下さい。
- ・ 本日例会終了後に新旧合同理事会を開催いたします。新旧理事の方はお残り下さい。



岡田定雄会員より


・ 今年度で岡田定雄会員が退会される事になり、ご挨拶をいただきました。2020年度からは名誉会員になっていただける事になりました。



6月26日 今日は何の日	今日生まれの有名人	
国連憲章調印記念日/露天風呂の日	1955年 具志堅用高	1852年 アントニオ・ガウディ
1906年 日米直通海底有線電話開通	1940年 ジェリー藤尾	1833年 木戸孝允
1968年 小笠原諸島の日本復帰	1928年 Dr. 中松	1377年 後小松天
誕生花	虎尾(トラノオ)、花言葉は“達成”	
誕生石	ブルーサファイア(blue-sapphire)、宝石言葉は“慈愛・誠実”	

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手輪に輪
ひろがれまわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30～13:30 (第1例会のみ 18:30～19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2019pdf/06-26.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX	
ご無沙汰のおわび。	岡田(定)
藤本様客話なんとか実現しました。ありがとうございます。	江島
ニコニコBOX、ご協力に感謝。	島谷
誕生日祝い、ありがとうございました。	低田
遅刻、携帯	1件
合計 5 件	
本日 の 合計	29,000 円
2019-2020 年度 累計	924,500 円

メイクアップ

6月18日 高松RC 石井 江島 野口 泉谷 藤田

出席報告		出席委員長：岡田和幸	
会員数 /	56 名	出席規準数 /	52 名
出席者数 /	28 名	欠席者数 /	24 名
出席率 /	53.85%	ビジター /	0 名

例会変更

- 6月24日(水) 高松南RCは休会
- 6月25日(木) 観音寺RCは休会
- 6月30日(火) 高松RCは休会
- 6月30日(火) 丸亀東RCは休会
- 6月30日(火) 観音寺RCは休会

2019-2020 年度 新旧合同理事会報告

日時 2020年6月19日(金) 13:30～
 場所 JRホテルクレメント高松例会場
 出席者 2019-20年度 島谷、村上、鈴木、辻、石川、金光、植田、オブザーバー吉本
 2020-21年度 住谷、田中、低田、木内、松下
 議題 ・新入会員として 堀田 晃司氏 承認いたしました。
 ・クラブ細則 第11条第5節を第3節に移動。
 理事会に推薦後、先ず7day'sを行うように、会員選考の手順を変更する。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開
 していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



2020-21 年度 テーマ

国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏(ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属)が、1月20日、サンディエゴ(米国カリフォルニア州)で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。



ロータリーは機会の扉を開く

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちに少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

クナーク氏はまた、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク会長エレクト。「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」

ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」

次週のプログラム 第2460回 7月3日

会長運営方針&新・旧会長・幹事 慰労・激励会

担当者	会長・幹事・親睦活動委員会	例会場	JRクレメントホテル高松
-----	---------------	-----	--------------